

榊山神社だより

令和7年 09 月

42 号

行事報告

なにかと忙しくしていた為、しばらく「神社だより」を出していませんでしたが少し、時間的余裕ができましたのでご報告させていただきます。

御神木祭



六月六日に行われました御神木祭（第六十三回伊勢神宮式年遷宮の御樋代木奉迎送祭）が多くの方の支えと参加があり、無事できましたこと改めてありがとうございます。この行事は木曽、裏木曽を皮切りに二十年に一度行われる文化伝承を後世につないでゆく大事な祭りです。まだまだ遷宮

に関わる祭りが八年後の神宮遷座まで続きます。これから行われる遷宮の為の行事も数多くあります。ぜひ氏子の皆様の参加をお待ちしています。



榊山神社夏祭り

七月二十六日、二十七日の榊山神社夏祭りは暑い日差しの中、盛況のうちに無事終えることができました。今年は昨年までと違い各催しの時間または日付の変更を行いました。それにより暑さ対策、人出対策が少しでも緩和できました

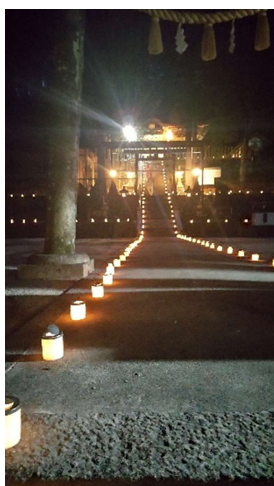
- ① 本日に行われた山車の繰りだしを前日にした事
- ② 前日行われていた富くじを本日にした事
- ③ 本日の神事を十三時から十時に変えた事

区民の皆様、ご準備ご苦労様でした、またありがとうございました。



幽光御神灯祭

八月九日幽光御神灯祭（ろうそく祭り）を行い多くの方に夕涼みがてらミニコンサートを催しました。短い時間でしたが浴衣姿での参拝もあり老若男女関わらず足を運んでいただけましたことありがとうございます。



■ 神様と暮らす

【祭りは神様との出会いの場】

安産祈願

妊娠5ヶ月目の戌の日に神社にお参りして、安産を祈願し、帯祝いを行います。子供は神様からの恵みと考えられ無事生まれてくるようお願いをします。そして、大切な子を授かった身に感謝し、岩のように丈夫な子に育ちますようにとの意味を込められた「岩田帯」をしめる習わしのことで、戌（犬）は多産で安産が多いことから、これにあやかっている日にお参りします。最近では戌の日以外でも執り行います。

初宮詣

氏神さま（その土地の神様）に誕生の報告とお礼をし、今後の健やかな成長を神様に見守ってもらえるようにと祈願するものです。男の子は三十一日目、女の子は三十三日目に行われるようですが、子供の体調や天候に気を使い、これら前後の吉日に行います。また、百日目のお食い初めに合わせ一緒に行われることが多いです。

七五三詣で 神様と家族への 感謝と祈り



AI

七五三祭り 申し込み

予約電話：0573-72-2892

公式 HP：https://www.mdworks.jp

榊山神社 中津川市

検索

HP から七五三メール予約できます

QR コード



■ これからの祭り

令和七年九月二十三日（火）

秋季祖霊殿祭

午前10時 永代供養親族（自由参拝）
※予約にて参拝可能

令和七年十一月八日（土）

七五三詣 九日（日）

午前10時 午前11時
午後1時30分

※予約が必要

宮司宅電話、ホームページ、
または上記、

QRコードより予約可能

令和七年十一月二十三日（日）

秋祭り（新嘗祭）

午後2時 来賓（市議、区長、区議、
町内会長）

七五三詣

3歳の男女、5歳の男の子、7歳の女の子のこれまでの成長を神様に感謝し、さらなる成長をお祈りします。古くからの風習によるもので、3歳の「髪置」、5歳の「袴着」、7歳の「帯解」の祝いがありました。「髪置」とは3歳になるまで剃っていた髪をこの日を境に伸ばし整え始めたこととされます。「袴着」とは5歳になると袴を着付け始めたこととされます。「帯解」とは7歳になると、それまで付紐で着ていた着物から帯でしめる着物にかえました。

厄除け

男性は25歳、42歳、61歳
女性は19歳、33歳、37歳
61歳で精神的、社会的、身体的に転換期を迎える時期となり、体調を崩しやすいものです。中でも男性42歳、女性33歳は大厄とされ、何事にも慎むことが大事とされています。その為、神社に正式参拝して厄を祓います。

他、入学式、卒業式、成人式、結婚式、還暦奉告祭を人生の祭り「人生儀礼」と云います

安産祈願、初宮詣、厄除け、車のお祓いの正式参拝の予約

お問合せ先 宮司 深谷 耕平

宅 ☎0573-72-2892